

# 旅の図書館 だより

観光文化情報センター 旅の図書館長 企画室長 主任研究員 福永香織

## Historical Archive on Tourismと Thomas Cook Archivesを訪問

2018年に開設40周年を迎えた旅の図書館では、国内にとどまらない新たなネットワークを形成するため、ドイツ・ベルリンにあるHistorical Archive on Tourism(HAT)と、イギリス・ピーターバラにあるThomas Cook Archivesを訪問してきました。いずれもヨーロッパを代表する観光関連の歴史資料アーカイブスとして知られています。

### Historical Archive on Tourism

HATはベルリン工科大学図書館に付属する観光専門のアーカイブスで、1929年にローベルト・グリュクスマン(注1)が世界初の観光科学研究所とアーカイブスを設立したのがルーツとされています。後世のために観光史料を保存し、研究や教育、メディア、観光、展示産業の利用に資することを目的として、1986年にベルリン自由大学で設立されました。翌年にはベルリン工科大学に移転し、複数の財団や企業の寄付を受け、同大学図書館の地下1階に現在の形で整備されました。

1999年からベルリン工科大学教授のHasso Spode氏が統括。歴史社会学者としてドイツの旅行史やアルコール消費文化などを専門に研究する傍ら、HATの管理・運営をおこなってきました。

Hasso Spode氏と我々の接点は2017年にさかのぼります。当館のことを知ったSpode氏から当財団宛に直接メールをいただき、資料をお送りいただいたことが最初でした。その後、Spode氏が日本にいらした際に当館にもお立ち寄りいただき、館内の案内と所蔵資料に関する情報交換をおこないました。当館の設備をはじめ、HATでも所蔵していないベデカーのガイドブックが当館にあること等に非常に興味を持っていらっしゃいました。あれか

ら2年。当方としても、いつか訪れたいと思っていたHATへの往訪が実現したことはこの上ない喜びでした。

HATには3つの資料室があり、資料総数は70000点以上にもなります。1室目はジャーナル、ガイドブック、トラベルガイドなど、2室目は地誌、紀行文、統計、全大陸の国別の旅行パンフレットなど、3室目は観光統計、写真アルバム、論文、ポスターなどが収蔵されています。特に世界中のガイドブックのお手本でもあったBaedekerのガイドブックに加え、日本ではあまり見ることのできないGriebenのガイドブック、富裕層が利用したMeyersのガイドブックなどが500冊以上並ぶ様子は壮観でした。

日本の資料としては文献とパンフレットが約100点あり、中にはジャパン・ツーリスト・ビューローの機関雑誌『ツーリスト』や、国際観光局が発行した『ツーリスト・ライブラリー』の一部などもありました。主に研究者やマスコミ関係者、学生などに利用されており、メールでの予約制となっています。

運営予算は企業や財団からの寄付でまかなわれてきましたが、その寄付が打ち切られることになったため、来年からの運営については未定とのことです。

#### 表 ① HATの概要

設立年	1986年(前身は1929年に設立された観光科学研究所)
蔵書の概要	フリードリヒ・バーガー(DRV)、フランツ・F・シュワルツシュタイン(GNTB)、ウォルター・カーン(Scharnow-Reisen)の観光史コレクションをベースとしており、ガイドブック、パンフレット、ジャーナル、紀行文、地誌、統計、雑誌、ポスター、地図、写真集、テープ、ビデオ、ファイルなど約70000点を所蔵。資料の主な年代としては19世紀から20世紀にかけてで、最も古いものは1600年代。メインはドイツ語圏の中央ヨーロッパ。パンフレット類のコレクションは全大陸をカバー。
利用費	無料(ただしスキャンや調査などは有料)
対象	研究者、学生、マスコミなど
利用について	メールでの事前予約制 自身でのコピーは不可。スキャンを依頼するかカメラでの撮影を相談。 館外貸出不可。(美術館や博物館への貸出は例外) 受付で利用登録をおこない、荷物を預けて資料室へ。
開館日	火曜日
場所	TU Berlin, HAT, Hardenbergstr. 16-18 (HBS1), D-10623 Berlin



HAT内部の様子



HATが所蔵しているパンフレットの一部

